

第\_\_回演習課題：論理演算(CiNii) 提出日\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_限 学籍番号\_\_\_\_\_ 氏名\_\_\_\_\_

この演習のねらい：実際に論理演算を使った検索を体験し、論理演算を使うことに慣れる。論理演算の用語（論理積、論理和、論理差）がわかるようになる。ベン図が描けるようになる。

CiNii Articles（以下、CiNii と呼ぶ） <http://ci.nii.ac.jp/> のサイトを Internet Explorer で開き、以下演習を行いなさい。CiNii は「学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報を検索できます」。

論理積(AND)の場合は「空白」でキーワードを区切る（例：「英語 多読」）、論理和(OR)の場合は「OR」を使う（例：「英語 OR 多読」）、論理差(NOT)の場合は「NOT」を使う（例：「英語 NOT 多読」）。「詳細検索」のリンクをクリックすると、「論文名」「著者名」などを指定した検索が行える。詳細については、画面下部のヘルプを参照すること。

1. 「詳細検索」をクリックし、「論文名」のクエリボックスに「生涯教育 図書館」を入力して「検索」をクリックしなさい。ヒットした件数は( )件である。結果をみると「生涯教育」は含まれているが「図書館」は含まれていないレコードや、「図書館」は含まれているが「生涯教育」が含まれていないレコードはヒットせず、必ず「生涯教育」と「図書館」の両方が論文名に含まれたレコードのみがヒットしている。このような検索を論理( )を使った検索といいます。以下にベン図を描きなさい。
2. 著者名のクエリボックスに「江草由佳 NOT 高久雅生」を入力して検索する。ヒット件数は( )件である。このような検索は論理( )を使った検索という。以下に、ベン図を描きなさい。
3. 著者名のクエリボックスに「高久雅生 NOT 江草由佳」を入力して検索する。ヒット件数は( )件である。「江草由佳 NOT 高久雅生」と「高久雅生 NOT 江草由佳」の検索結果が異なる理由を説明しなさい。

4. 「詳細検索」をクリックし、「論文名」のクエリボックスに「高校」を入力して「検索」をクリックしてみなさい。ヒットした件数は( )件である。
5. 「論文名」のクエリボックスに「高等学校」を入力して「検索」をクリックしてみなさい。ヒットした件数は( )件である。
6. 「論文名」のクエリボックスに「高校 OR 高等学校」を入力して「検索」をクリックしてみなさい。ヒットした件数は( )件である。このような検索をした場合、論文名に「高校」と「高等学校」の両方が含まれている論文も、論文名に「高校」だけが含まれている論文も、論文名に「高等学校」だけが含まれている論文もヒットする。このような検索のことを論理( )を使った検索といい同義語を検索したい場合などに適する。以下にベン図を描きなさい。
7. なぜ、4 のヒット件数+5 のヒット件数=6 のヒット件数にならないか説明しなさい。